

# 第1回紀の川市長期総合計画審議会 要旨

**開催日時** 平成28年8月22日（月） 午前10時00分から11時20分

**開催場所** 紀の川市役所 本庁2階 市民協働スペース

## 出席者

### 【紀の川市長期総合計画審議会】（委員24名）

今木委員、井口委員、楠見委員、西川（武）委員、中川委員、和田委員、中本委員、宇野委員、戸中委員、山田（守）委員、仁藤委員、渡部委員、西川（泰）委員、野村委員、尾崎委員、井尻委員、阪中委員、泉中委員、小倉委員、高田委員、山田（泰）委員、右梅委員、城口委員、赤坂委員、（欠席 小林委員）

### 【紀の川市（紀の川市長期総合計画本部）】（4名）

中村市長、林副市長（本部長）、森本企画部長（本部員）、神徳企画部次長（策定委員長）

### 【事務局（企画調整課）】（6名）

角課長、東、瀧本、西端、馬場、（受託業者 石堂）

### 【傍聴】（1名）

## 資料

- ①第1回紀の川市長期総合計画審議会 次第 [※事前配布]
- ②【資料1】第2次紀の川市長期総合計画策定方針（案）[※事前配布]
- ③【資料2】平成28年度紀の川市 市民意識調査 [※事前配布]
- ④紀の川市長期総合計画審議会委員 ご意見お伺いシート [※事前配布]

## 会議の概要

- 1 開会
- 2 委嘱状の交付
- 3 市長あいさつ
- 4 委員及び事務局紹介
- 5 議事

（1）長期総合計画審議会の運営について

- 【資料1】「第2次紀の川市長期総合計画策定方針（案）」の10ページ「紀の川市長期総合計画審議会条例」第2条（所掌事務）、第4条（委員の任期）を説明

- 会長、副会長の選任について、委員の互選により、会長に仁藤委員、副会長に井口委員を選任

(2) 第2次紀の川市長期総合計画策定方針（案）について

- 事務局

【資料1】「第2次紀の川市長期総合計画策定方針（案）」の計画策定の趣旨、基本的な考え方、長期総合計画の構成及び期間、策定体制、策定スケジュールについて説明

- 西川（泰）委員

外部委員で組織する審議会、庁内組織である本部の構成を見ると、どのようにして若い世代の意見を取り入れるのかが見えてこない。例えば、若い世代がなぜ紀の川市に住むのか、岩出市に住むのか、賃貸住宅業者に確認すればすぐに分かるし、思いもよらない意見が把握できる。また、紀の川市の若い職員の中には素晴らしい考えを持った職員も多い、紀の川市の将来、今後10年、20年先を見据えた構想を検討する場合、若い世代がどのように考えているのかを把握する必要がある。若い人たちの意見が取り入れられる制度を考えてもらいたい。

- 事務局

今後10年、20年先の紀の川市のまちづくりを考えた場合、若い方の意見が、重要であると認識しています。庁内組織に関しましては、採用5年以内の若手職員によるワークショップも既に開催し、また、【資料1】の6ページ下段にあります策定作業班の策定作業員につきましては、各課から若手職員を含め、課の中心となるキーパーソンを選出いただき、意見を伺いながら策定作業を進める予定であります。

今後、ご提案の賃貸住宅業者さまへのアンケートなど、外部の意見をどのようにして取り込んでいくのか、委員の皆さまのご意見もお伺いしながら進めてまいります。

- 西川（泰）委員

多くの意見を聞くというのは悪くないが、今後の紀の川市をどうするか議論する場合、組織そのものに若い世代から参画いただき、発言いただく必要があるのではないか。

- 仁藤会長

例えば、経験豊富な本審議会委員の皆さまで基本方針を議論いただき、具体的な取り組み部分においては、若い世代の意見を取り入れていただくなど、本日の審議会のご意見を反映できるような工夫をして下さい。

➤ 西川（武）委員

西川（泰）委員のご意見はすごく嬉しいが、実際に若い方がこのような審議会に時間を作って参画するのは大変と感じる。例えば、審議会下部組織として、若い世代の方が気楽に話し合えるような場を作ってもらえれば参画しやすいのではないかな。

➤ 事務局

広く市民の皆さまから意見をお伺いする方法として、市民ワールドカフェや市民ワークショップの開催など若い世代の方をはじめ多くの方が集える方法を検討してまいりますので、ご協力をお願いします。

➤ 楠見委員

公募委員として参画しているが、今回応募するに当たって関心のある分野についての設問が応募用紙にあったが、総花的な形で審議が進んでいくのか、専門委員会的な形で議論を行い、積み重ねたものをこのような全体的な場で審議するのか、第1次計画策定時の取り組みも踏まえて、今後の進め方を教えてもらいたい。

➤ 事務局

現行の第1次長期総合計画については、前期計画、後期計画と2回策定の機会がありましたが、審議会において分科会や専門部会などを組織して議論をいただくということは無かったかと思えます。第2次長期総合計画の策定に際しては、審議会委員の中で専門部会を組織するのではなく、多くの市民の皆さまの参画を得た中で、そのような専門部会を組織し、審議会委員の皆さまには、そちらにご参加いただければと考えています。

➤ 宇野委員

庁内組織である計画本部の策定作業員のメンバーは、肩書きを外して、若手職員が紀の川市の将来について、自由に議論できる場を作ってもらいたい。

また、多くの市民の意見を聞く機会を設けることは良いことだと思うので、うまく機能するよう取り組んでももらいたい。

➤ 事務局

多くのご意見を吸い上げるような仕掛けを検討していきます。

➤ 西川（泰）委員

若い職員の意見を吸い上げて、決定するのが上層部の職員であれば何も変わらない。吸い上げるのではなく、若い職員に決定させ責任を持たすことが大事。発想そのものを変えることが今後の長期総合計画には大事。

➤ 事務局

若い職員の意見そのものが反映される計画づくりを今後、検討してまいります。

➤ 仁藤会長

第2次紀の川市長期総合計画策定方針につきましては、この方針で進めさせていただき、各委員からいただきましたご助言につきましては、事務局と打ち合わせて反映いたします。

(3) 経過説明について

➤ 事務局

【資料2】「平成28年度紀の川市 市民意識調査」の調査の目的、対象者、実施期間、各調査項目の内容について説明

➤ 楠見委員

現時点で、何件返送されているのか。

➤ 事務局

先週末時点で730件返送いただいている状況です。

➤ 西川（武）委員

インターネットによるアンケート調査を検討する予定はあるのか。また、自分も回答してみたが問3については「わからない」という回答が多くなると感じたがその点についてどうか。

➤ 事務局

インターネット調査については、技術的な部分で勉強不足なところはあるが、現時点では検討していません。市民意識調査につきましては、長期総合計画策定時だけでなく調査するのではなく、毎年もしくは隔年に実施できればと考えていますので、その時には、新たな取り組みとして効果的であれば検討していきたいと考えます。

また、問3の設問が回答困難というご意見をいただきましたが、現行計画の基本施策の満足度を図るためには、事務局としては是非お伺いしたいという判断で実施させていただきましたが、分析結果を見ないと分かりませんが、もし影響が出ているのであれば、今後、毎年もしくは隔年に実施する調査におきましては、質問方法を検討させていただきたいと思います。

➤ 西川（武）委員

件数が少ない場合は、アンケートの実施内容を広報で周知し、希望する方に回答いただくモニター調査の実施も検討してもらいたい。

➤ 仁藤会長

市民意識調査の集計・分析結果につきましては、後日、審議会において報告させていただきます。

(4) その他

➤ 事務局

【資料1】の【参考資料】9ページの紀の川市長期総合計画審議会【平成28年度のスケジュール】と「紀の川市長期総合計画審議会委員 ご意見お伺いシート」の活用方法について説明

(質疑なし)

➤ 仁藤会長

本日の会議全体を通してご意見ございませんでしょうか。

(質疑なし)

6 閉会 (副市長あいさつ)